

## 平成30年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（2月4日現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム①番窓口で見ることができます。）

奨学団体等	必要資格	支援機構 奨学金 との重複	対象学年 (注意:平成31年4月時点の学年)	金額	給付・貸与 の別	募集人員 (全国で)	募集要項の 〈請求先〉	申請書類の 〈提出先〉	提出期限
公益信託 松尾金蔵記念奨学金基金	大学院において文学、哲学、宗教学、美学、美術史、言語学、人文地理学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会学)を学ぶ、平成31年4月現在における修士課程(博士前期課程)及び博士課程(博士後期課程)1年次の学生(留学生を除く)で、次の各号に該当すると認められる者。 ①修士課程の応募者:家族の家計を支えるものの前年度収入が原則800万円(税込総収入)以下とする(本人が独立生計の場合も同様)。 博士課程の応募者:本人の前年度収入が原則250万円(税込総収入)以下とする。 ②原則としてほかの奨学金(日本学生支援機構等の貸与型も含む)を受給していない者。他の奨学金との併願は可とするが、当基金で採択された場合はどちらか一つを選択のこと。 ③品行方正、健康で学業成績が優秀な者。 ④平成31年4月1日現在、30歳以下の者。	不可	修士課程(博士前期課程) 博士課程(博士後期課程) の1年生	年額 100万円	給付	本学からの推薦枠 修士課程から1名 博士課程から1名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月15日 (16時厳守)
公益財団法人 川野小児医学奨学財団	以下の条件をすべて満たす者 1)身体が健康であり、気質及び素行ならびに学業が良好である者。 2)埼玉県内の高等学校を卒業し、日本国内の総合大学医学部、または医科大学で小児医学を志す大学生、及び、小児医学研究に従事している大学院生。 3)学長の推薦を受けている者。 4)【募集要項】「10.給付者の義務」を果たすことができる者。	記載なし	埼玉県内の高等学校を卒業し、 医学部にて小児医学を志す 学部学生もしくは大学院生  ※学年の指定なし	月額 6万円	給付	記載なし	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月15日 (16時厳守)
公益財団法人 日本通運育英会 平成30年度奨学生	学術優秀、品行方正でありながら経済的理由により修学が困難な者	記載なし	平成31年4月1日時点で 学部1・2年生	3万円	貸与 (無利子)	全国で30名	大学 (学生支援チーム)	日本通運育英会 (4/15までに大学に推薦書 作成を依頼すること)	4月1日～ 4月30日 (応募書類必着)
一般財団法人 金澤磐夫記念財団	日本から海外の大学・大学院への留学を希望し、1年以上の入学を許可された者。 留学先での単位取得を目指す者(交換留学生は含まない)。	記載なし	全学年対象	年額 100万円 (渡航費用として50万円 給付後、6ヶ月後の学業 報告の内容により、さらに 50万円の給付を決定す る)	給付	記載なし	<a href="#">金澤磐夫記念財団 ホームページ(リンク)</a>	一般財団法人 金澤磐夫記念財団 事務局 天内様	4月15日～ 5月7日 (応募書類必着)
公益財団法人 尚志社	次の①～⑤の条件を満たす者。 ①成績基準 学部生・修士1年:本人の属する学部(科)の上位10%以内 博士1年:大学及び大学院における成績が特に優れていること。 ②年齢基準(平成31年4月2日現在) 学部4年:26歳未満(学部5年は27歳未満) 修士1年(30歳未満) 博士1年(35歳未満) ③奨学生選考委員会による面接を必ず受けることができること。 ④奨学金受給期間中は当財団が定期的実施する社友懇話会(年1回)に必ず出席すること。また、受給期間終了後もできるだけ参加すること。 ⑤受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)機関誌「尚志」に必ず寄稿すること。	不可 (日本学生 支援機構 の貸与型 奨学金を除 く)	医学部医学、大学院医学系研 究科(看護学専攻を除く)に在 学する日本人であって、次の 学年(受給開始時)の者とする。 学部生 6年生学科の4年又は5年 大学院生 修士課程(博士前期課程)1年 博士課程(博士後期課程)1年	入学金:大学院生のみ 実費(上限30万円)  授業料・他正規納入金 額:学部・大学院共に実 費 (上限100万円)  書籍及び下宿補助(月額) 4年自宅生 3万円 4年下宿生 4万円 5年～修士自宅生 4万円 5年～修士下宿生 5万円 博士自宅生 5万円 博士下宿生 6万円	給付	本学からの推薦枠 は1名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月5日 (16時厳守)
公益財団法人シマノ財団 平成31年度奨学生	①学業・人物共に優秀で経済的理由により修学が困難とみられる学生 ②年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団の行事に出席できる者及び年2回の状況報告ができる者 ③他奨学金との併給は差支えない。ただし、合計額は10万円を超えない範囲とする ④工学部、理学部在籍の学生 ⑤30歳以下の学生 ※原則として継続応募はできません。	可 (ただし合 計額が10 万円を超え ない範囲 で)	工学部の2年生及び3年生 (平成31年4月末時点)	月額 2万5千円	給付	当校からの 推薦枠は2名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月12日 (16時厳守)

奨学団体等	必要資格	支援機構 奨学金 との重複	対象学年 (注意:平成31年4月時点の学年)	金額	給付・貸与 の別	募集人員 (全国で)	募集要項の 〈請求先〉	申請書類の 〈提出先〉	提出期限
似鳥国際奨学財団	1:日本国籍を有する者(永住権を有する者も可) 2:2019年9月時点で学部課程の1.2.3.4年生に正規生として在籍する者。 ※6年制大学の、5年、6年に正規生として在籍する者も応募可能。 ※ただし、「修士」・「博士」・「全日制以外の学生」・「短期大学生」は応募対象外とする 3:学業、人物共に優秀であり、健康である。国際理解と国際間の有効親善に寄与できる者。 4:①当財団は他給付型奨学金との二重受給は認めない。ただし、貸与型奨学金並びに大学の授業料減免は認める。 ②当財団奨学金と他給付型奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。 ③当財団奨学金と同時に他給付型奨学金を受給した場合には、直ちに当財団の奨学生資格が取り消され、重複期間中の奨学金を全額返済しなければならない。	給付型奨学金は不可 貸与型奨学金、授業料減免は可	平成31年9月時点で日本国内の大学の2.3.4年に在籍・在籍予定の日本人学生	自宅生 5万円(月額) 自宅外生 8万円(月額)	給付型(1年間支給)	100名	<a href="#">似鳥国際奨学財団ホームページ(リンク)</a>	<a href="#">似鳥国際奨学財団ホームページ(リンク)にてWEBエントリー</a>	<b>4月30日</b> (締切が早まる可能性があるため、早めのエントリーを推奨)
山梨県ものづくり人材修学支援事業費補助金	申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部、もしくはこれに準ずる学部、研究科等(以下、「大学等」という。)に在学し、次の各号のすべてに該当する学生を対象とします。 1.独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていること 2.平成30年度卒業予定者については平成31年9月末までに、平成31年度卒業予定者については平成32年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発・製造部門への就職を希望していること 3.平成30年度卒業予定者については平成31年4月初日を、平成31年度卒業予定者については平成32年4月初日を起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること 4.平成30年度または平成31年度に卒業予定であること	返還支援	平成30年度又は平成31年度に卒業予定の者	卒業前2年間に貸与を受けた金額 ※支援金額に上限有	返還支援	平成31年度就職予定者から24名 平成32年度就職予定者から35名	<a href="#">山梨県産業労務部ホームページ応募書類(リンク)</a>	<a href="#">山梨県産業労務部ホームページ(リンク)</a>	<b>3月29日</b> ※募集人員に達したところで締切ます
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の進路に指定のある奨学金との重複は不可	医科大学・大学医学部の学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与(返還免除制度あり)	記載なし	<a href="#">津生協病院ホームページ(リンク)</a>	<a href="#">津生協病院ホームページ(リンク)</a>	<b>随時</b>

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 平成31年5月7日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)